

高校生の観光事業構想コンテスト



 SDGs修学旅行部門
＜準決勝事業企画書＞

タイトル

タイトル 10～20文字	厄介者を観光資源に
サブタイトル 20～30文字	猪苗代町の他とはひと味違った環境保全

チーム情報

都道府県	福島県
高等学校名	安積高校
チーム名	猪苗代チーム
担当教職員名	越智 康裕

メンバー名	学年	性別	氏名	担当	代表
メンバー①	2	女	遠藤 菜葉	企画	○
メンバー②	2	女	草野 日向子	調査	
メンバー③	2	女	加藤 愛理	予算計上	
メンバー④	2	女	金子 優海	調査	
メンバー⑤	2	女	佐藤 柑菜	ルート検索	

※ 1チームのメンバーは3～5名

※ 担当欄にはチームにおける担当業務(企画、調査、取材等)を記入

※ 代表欄にチーム代表者1名に「○」を入れる

目的地と地図

一日目



二日目



三日目



猪苗代町の地域課題と解決策



SDGsターゲット: 6-6
水と衛生に関わる分野の管理向上における
地域コミュニティの参加を支援・強化する

課題1 猪苗代湖の水質汚染

猪苗代湖ってどんな湖？

磐梯山を背に、紺碧の水面を輝かせる猪苗代湖は、福島県が誇る日本で4番目に大きい湖。その豊富な水は、明治の初めに作られた安積疎水によって郡山周辺に水田をもたらし、近年は標高の高さを利用して水力発電にも利用されている。また、平成14年から17年の間、環境省から水質日本一と評価された。



しかし、近年はpHの上昇、COD(水質汚濁の指標)の上昇、大腸菌群数の上昇が徐々に進行し、綺麗とは言えない状況にある。

→【注目されている原因】 湖畔の水生生物漂着量の増加による有機物濃度の上昇



解決策 この内の一つに『菱』があげられる。 → [4ページ目へ](#)

課題2 野外アクティビティへの参加の減少

近年、情報化社会に暮らす若者の野外での活動が減っている = 自然に触れる機会が減っている

解決策 猪苗代町の豊かな自然を利用した屋外活動を PRする → [4・5・6・7ページ目へ](#)

私たちの修学旅行案は、自然により多く触れるために、屋外での活動を主体としています。

過度のインドア生活やストレスの多い都市生活は、人間の免疫システムや神経に悪影響を与えます。自然と触れることは心身の健康を保つ上でとても重要です。

体験イベント (1日目)

『厄介者を観光資源に！‘菱の実’で地域活性化に貢献』

★「菱の実」とは？

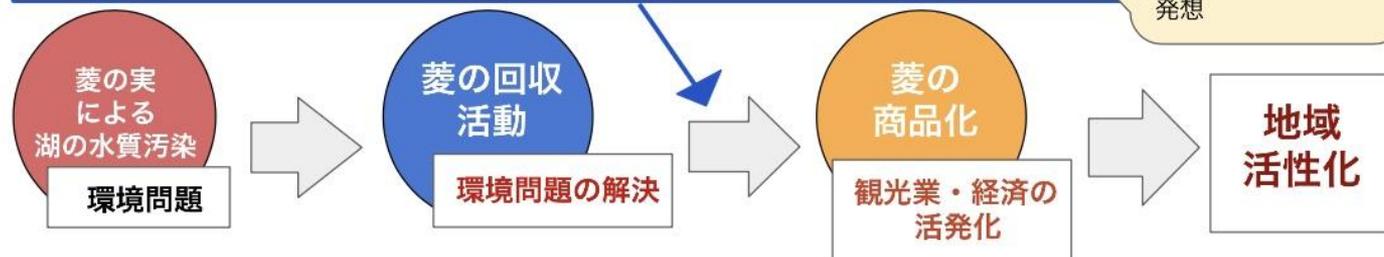
猪苗代湖の湖畔沿いでは、「菱」（水草の一種）の実が繁殖しており、水質汚染の要因となっている。

↓
そこで...

転換の発想～厄介者を観光資源に！！～

菱の実を回収し、お茶などに加工して新たな商品として観光資源に利用する

環境課題の解決だけでなく、多方面から地域を活性化にする持続可能な発想



◇菱の実

⇒菱の実収穫&実食体験

- 体験の流れ
- ①猪苗代湖の現状や菱についての講話を聞く。
 - ②実際に浜に出て収穫(猪苗代湖北側の松橋浜)
 - ③菱の実を食べる(菱の実は、皮をむいて炒めて食べることができる) → 収穫した菱の実から作ったお茶を飲むことも可能

ボランティアの一員として活動



◇皮をむいた菱の実を炒めている様子



◇菱から作った「いなびし茶」

体験イベント (2日目)

『猪苗代町の水資源に触れよう!』

田圃クエスト ～ねらい～ 猪苗代町の田んぼに触れる

田圃クエストとは?猪苗代町の耕作放棄地を復活させ、多種多様な水生生物、豊かな自然環境を守り受け継いで未来に渡すためのイベント団体。田圃クエストで使われている水田の水路は自然のままであり、これは全国的に見ても珍しい！
田んぼ=水資源であり猪苗代町の産業において必要不可欠である！

活動内容:手作業での田植えや稲刈り、水生生物、昆虫の観察など



←水が張られた
猪苗代の田圃風景



←稲刈り前の
田んぼの様子

体験イベント (2日目)

『猪苗代湖を実際に見てみよう!』

猪苗代湖遊覧船～はくちょう丸・かめ丸～

～ねらい～ 猪苗代湖を巡って湖について知り、遊覧船の歴史を学ぶ

はくちょう丸・かめ丸とは? →約60年前から町のシンボルとして地元の人や観光客から愛されてきた猪苗代湖観光遊覧船。新型コロナウイルスの影響で前会社が廃業し、一時は廃船の危機まで陥ったが、今回の修学旅行プランの宿、「レイクサイドホテルみなとや」の経営者の方がクラウドファンディングを立ち上げ、全国からの協力によって復活した。

活動内容:猪苗代湖を巡り、ガイドの方に湖の現状や遊覧船の歴史を説明してもらう



←猪苗代湖に浮かぶはくちょう丸・かめ丸

体験イベント(3日目)

『猪苗代湖の水質と生き物を知ろう!』

ウチダザリガニ駆除&試食体験

ウチダザリガニとは?:大型の外来種のザリガニで、近年裏磐梯の湖沼や川でその数を増やし続けている。水辺の生き物を食べてしまうため、元来の生態系を破壊してしまう恐れがある!

活動内容:厄介者のウチダザリガニをただ駆除するだけでなく、美味しく食べて駆除しようという活動。釣ったあとは実際に調理して食べることができる。



アクアマリン猪苗代カワセミ水族館

～猪苗代湖にいる生き物を見て湖の現状について知る～

「猪苗代湖の生態系モデルをつくる」ことをコンセプトとし、ゲンゴロウ類などの水生生物や淡水魚、ユーラシアカワウソなどを展示している。



一人当たりの予算

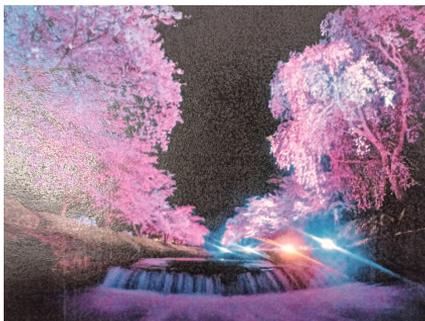
交通費 (高速バス3台 ¥825000) 一人¥7102

宿泊費 一泊目:レイクサイドホテルみなとや ¥7150

二泊目:裏磐梯レイクリゾート五色の森 ¥9900

二泊合計 ¥17050

コンテンツ代 (菱の実収穫、水族館料金など) 一人 ¥14440



合計金額(一人分) ¥38592

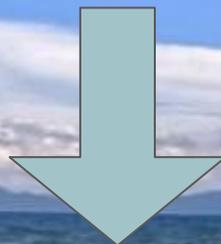
私たちの旅行への思い

福島県を代表する湖、猪苗代湖の水質が近年悪化しています。

その原因として菱の実が挙げられますが、猪苗代町ではそれらをただ除去するのではなく、お茶などに生まれ変わらせて、**観光資源**に変えてしまうのがポイントです。

猪苗代町の地域起こし協力隊の皆さんを初めとした若い世代の方々が、様々な生態系や事業の問題を、**発想の転換**で乗り越えようとしています。

この修学旅行を通して



発想の転換によって活性化を進めている猪苗代町に出会い、

町の取り組みや魅力が全国に広がることを願っています。

